



1 国道沿いで視認性の高い立地にある「石巻みなと斎場 清月記」
2 会食室
3～6 完成内覧会の様子。料理や返礼品の展示会、遺影撮影会など多くのイベントが行なわれ、2日間で430人が来場した

仙台・清月記、他社施設を取得し 石巻市4か所目の会館開設

仙台市を本拠に葬祭事業を展開する㈱清月記（本社仙台市宮城野区、社長菅原裕典氏）は、2月18日、宮城県石巻市に「石巻みなと斎場 清月記」をオープンした。これにより、市内での同社の葬祭会館は4か所目となる。

JR石巻線石巻駅より車で約10分、三陸沿岸道路石巻河南ICより約15分の国道398号沿いに位置する。館内には、式場2室（250～300席、50～100席）、遺族控室（リビング、ダイニング、ベッドルーム）、会

館、遺体安置室（3体）などを配置した。駐車場は60台収容可能。遺族控室にベッド3台、布団5組を用意したことで、より多くの親族が故人と過ごせる環境を整えたほか、館内にラウンジを設け、施行のある日も事前相談などに訪れた来館者への対応を可能にしている。

同会館は、もとは縫製工場だった建物を別の葬儀社が改装し、葬祭会館として運営していたもの。今回、清月記が買収し、さらに会館機能を高めるためリノベーション

を施したうえで開業に至った。

市内の既存3会館（「石巻斎場 清月記」、「石巻蛇田斎場 清月記」、「石巻大街道斎場 清月記」）からはそれぞれ車で10～20分圏内にあるほか、指定管理者として清月記グループが運営する「石巻市石巻斎場」（炉数5基）へも車で約15分の距離にあり、同社のさらなるシェア補完に寄与する立地となっている。

2月18、19日には完成内覧会を開催。人形供養祭をはじめ、通夜・法要料理や返礼品の展示会および試食会などを行ない、2日間で430人が来場した。初年度（2か月）の施行目標は15件を見込む。